

## 明石市議会 10名の新顔加わり、正常化へ一歩

### 正常化めざす4派連合で正・副議長、14日から一般質問スタート

明石市議会は統一自治体選挙の後半戦4月21日投開票で、新たな議員30名の当選が決まり、5月1日から新議会がスタートしました。現職20名は全員当選したが、元職1名を含めて10名が新しい顔ぶれに入れ替わりました。議員定数の3分の1に相当します。5月15日の正副議長などの役員選出では、新たに結成された3会派を中心に激しい多数派形成が水面下で行われ、議長には「未来明石」の大西洋紀氏が、副議長には「フォーラム明石」の宮坂祐太氏が選出されました。

改選前の明石市議会は、10名を擁した最大会派の保守系「真誠会」を中心に一部会派を除いた圧倒的な“多数派”が議会運営を牛耳る格好が続き、議会運営が裁判の場にまで持ち込まれる様相を続けていました。改選で、これまで最大会派と歩調を合わせていた民主連合がなくなり、公明党が“議会正常化”をめざす会派と協調する格好で、11名に増えた自民党真誠会が孤立する形で正副議長とも失って主導権が“正常化連合”に移ったと言えます。

7日から始まる6月議会の行方が注目されます。

#### 明石市議会の会派構成

5月15日◎幹事長○副幹事長

【自民党真誠会】◎三好宏○林健太、灰野修平、坂口光男、榎本和夫、辰巳浩司、寺井吉弘、梶原成人、井藤圭順、千住啓介、石井宏法（11名）

【公明党】◎松井久美子○尾倉あき子、佐々木敏、梅田宏希、飯田伸子、国出拓志（6名）

【フォーラム明石】◎吉田秀夫○竹内きよ子、林丸美、宮坂祐太（4名）

【維新の会】◎筒泉寿一○北川貴則、森勝子（3名）

【未来明石】◎出雲晶三○丸谷聡子、大西洋紀（3名）

【日本共産党】◎辻本達也○楠本美紀（2名）

【スマイル会】◎家根谷敦子

## 傍聴席を市民で埋めよう!!

### 市民自治あかしが「議会ツアー」を呼びかけ

6月14日（金）17日（月）18日（火）本会議 一般質問 午前10時~本会議場

「新しい構成になった議会を、市民一人ひとりがしっかり見守ろう」と、市民自治あかしは6月議会の冒頭から「議会ツアー」を呼びかけます。議会制民主主義は、議員を“選び放し”にするのではなく、選んだ議員がどのように市民の声を議会に反映しているか、行政当局から提案された施策についてどのように質しているか——を、市民自身がフォローアップすることによって機能します。

本会議の傍聴席は一般席が75ありますが、がらがらの日が多いのが現状です。議員さんたちも傍聴者が多いと元気が出て、緊張感が張り詰めます。とくに登壇し質問に立つ議員には、満席の傍聴席効果は抜群です。ひな壇に座る理事者側の市長や部局長は傍聴席から真正面に座っているため、傍聴者が多いと緊張します。

傍聴は事前の申し込みは必要でなく、誰でも傍聴できます。出入りも自由です。4つの常任委員会や特別委員会、議会運営委員会も傍聴できます。議会ツアーでは傍聴の後、本会議が終了後に議員との懇談の場も用意しようと計画しています。ぜひ、多数のご参加を期待します。

## トークサロン 草の根の市民自治を掘り起こそう！

# 市民自治あかし 2019 年度総会

6月29日（土）午後1時30分～4時30分

アスパア明石北館 8階 市民活動支援センター・ブース

政策提言市民団体「市民自治あかし」は、今年で7年目の活動に入ります。市民自治の市政とまちづくりをめざして、日常的に市政と市議会の改革を求め、市民力の向上に資する活動を継続する市内唯一の市民団体として、多くの方々の支援を得ながら活動してきました。激しく揺れ動いたこの1年の活動を総括し、新たな年の活動方針を定める7回目の総会を上記の通り6月29日（土）に開催します。

市民自治あかしのメンバーでない方の参加も歓迎です。明石市政とまちづくりのあり方について、幅広い観点から語り合しましょう。

今回は「市政に民意を反映する取り組み」として「市民マニフェスト運動」に注目いただいた大阪経済大学准教授の柏原誠さんをゲストに招き、外から見た市民自治あかしの活動についてご提言をいただきます。

## 次期・長期総合計画の策定に市民参画の手続きを丁寧に

わずか1年で策定？  
市民参画なおざり？

市長に要望書、6月市議会に請願書を提出

2021年から向こう10年間の明石市のまちづくりの方向を策定する「次期・長期総合計画」の策定方針について、3月4日の市議会総務常任委員会に報告されたが、この中で計画策定過程での市民参画の手順が明確ではなく、2020年度の1年足らずで次期計画が策定される懸念が浮上しました。

長期総合計画は従来から最低でも2年間、多い時には3年程度をかけて市民の声を幅広く汲み上げる手順を大事にしてきました。現行の第5次計画（2011～2020年）も2年間をかけて審議会の分科会を設置し各分野で関係する諸団体や市民が多様に参加してワークショップなどの参画機会をつくってきました。

2010年に施行された自治基本条例では「市民参画のもとで定める」ことや「市民と共有できる計画を定める」ことが明記（26条）されており、今回の策定過程では従来にも増して市民参画の手順が丁寧に行われなければならない。

計画では、今年度は市民意識調査を実施するとともに、現行の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2015-19年）を1年延長して、2020年度に現行の長期総合計画と同創生総合戦略の検証を経て次期計画を策定し、12～翌年3月に議案を提案するとしています。担当の政策室は市民参画の手順をどうするかはこれから検討するとしており、市民意識調査（無記名アンケート）も「市民参画の手法の一つ」という説明をする状態にあります。

市民自治あかしは5月24日、早急に再検討を求める要望書を市長宛に提出するとともに、6月7日には市議会にも「丁寧な市民参画の手順を踏むよう市当局に求め、慎重な審議を求める請願書」を提出します。請願書は19日（水）10時からの総務常任委員会で審査されると思われますので、多数の傍聴をお願いします。

## この春の市長選挙と市議会選挙を、公開討論会の録画を見て振り返ろう！

市民自治あかしはこの春の市長選挙を前に「泉市政に対する市民マニフェスト検証大会」を2月3日に予定しましたが、市長の暴言問題発覚に伴う辞職で市長の出席を得られずに緊急市民集会に切り替えました。3月の繰り上げ市長選を前に候補者による公開討論会を3月2日に開催、4月の再選挙に際しても公開討論会を4月13日に開催しました。また、3月24日には市議選候補者12名が出席して公開討論会を開催しました。

2回の市長選挙と市議選の  
公開討論会の模様は、全記録の録画をHPで公開中！

<http://shiminjichi-akashi.net/>